

秋田商高と秋田高の硬式野球の定期戦が26年ぶりに復活する。秋田商高が来年度迎える創立90周年の記念事業として、4月30日に秋田市の八橋球場で開催。センバツ帰りの秋田

商高と、一冬越えて成長した秋田高が対戦する現役戦のほか、これまで県内高校野球ファンを沸かせてきた両校のOB戦も行われる。

# 秋田の「早慶戦」復活

定期戦は大正時代にさかのぼるとされ、両校のチームカラーなどから秋田の「早慶戦」と呼ばれて高校野球ファンに親しまれてきた。ただし、同じ時期に高校野球春季リーグ戦が開催されるなどで球場の確保が難しくなり、1984（昭和59）年を最後に長く中断していた。

現役戦とともに注目を集めそうなのがOB戦。記念事業で現役戦を予定していることを知った秋田商高硬式野球部OB会が、秋田高硬式野球部OB会「矢留倶楽部」に話しを持ち掛けた。その後、両校と県高野連の了承を得て、現役との同日開催が決まった。

OB戦は39歳以下と40歳以下

## 秋田商—秋田高 硬式野球定期戦

# 26年ぶり開催 OB戦も実施

上に分かれて1時間ずつ行い、合計得点で勝敗を決める。硬式球を使用し、ユニホームは両校から借りる予定。

矢留倶楽部の菅原廣悦会長（60）は「秋商との試合は燃える。やるからには勝ちたいが、けがなく楽しくプレーしたい」と意気込み、秋田商高硬式野球部OB会の加藤肇会長（57）は「今回の現役、OB戦を契機に、定期戦が継続されればうれしい」と話している。

当日はOB戦が午前10時プレーボール、現役戦は午後から行われる。

（佐々木直人）

4月30日、八橋球場